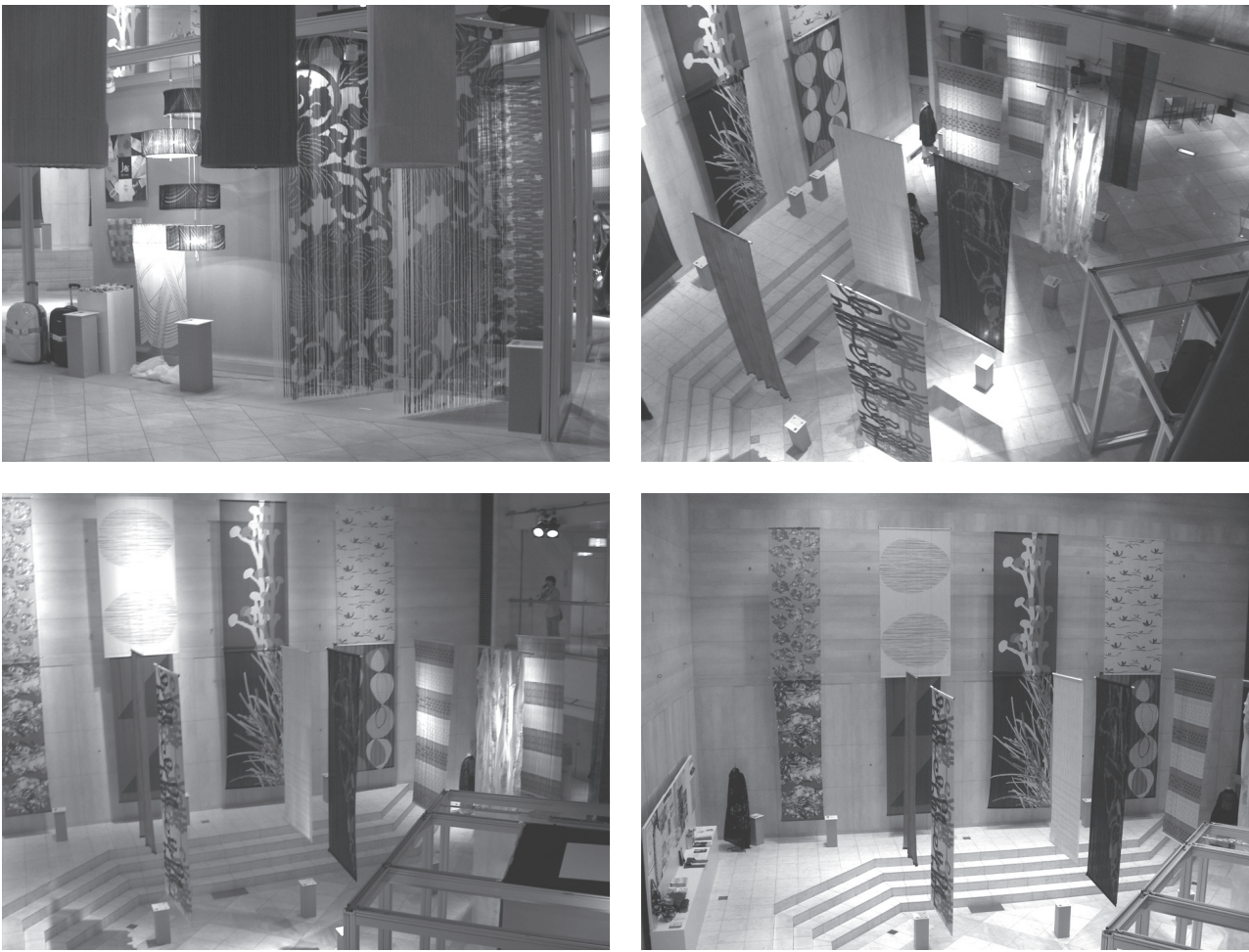


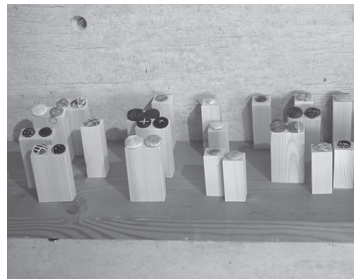
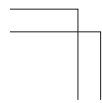
スタイルボタン展



約3ヶ月間の短期間で作品の製作をすることになってしまったことです。そこで製作を転写プリントとブリーツの加工技術に絞り込むことに致しました。他には、同じ製作イメージでファッションから新井明子さんと芝崎るみさんが人台を使っでの展示参加をして頂きました。ランプシェード・光ファイバー布・トラベルベルト・ストリングカーテンなども共有するデザインイメージで出展して頂きました。展示方法にも工夫を凝らし、広さ10.8㎡×13m(約140㎡)吹き抜け(高さ10m)の広く大きな空間に展示作品(6m丈の展示4箇所・3m丈12点・服飾4点・ランプシェード4点・ラグ・家具など)が新たな「和」のイメージで共演できたと思います。

期間中の来場者は約1000名あり、一つ一つの作品を熱心に見られる人が多かったのが印象的でした。アンケートの感想コメントにも「素敵な空間」「ホッとする感覚」「和のイメージがおしゃれ」などのお言葉を頂きました。初日のオープニングパーティにも50名以上のご参加を頂き、大盛況でした。

(東郷 清次郎)



- 開催日時：2007年11月28日(水)～12月2日(日)
- 開催場所：GALLERY北野坂(神戸市中央区)
- 参加者：伊東良子・板東正・辻めぐみ・北川陽子・神沢郁子・池端禎三・松本有加・菅原郁子・村山福子・北里美絵子・野々口悟・朝比奈由起子・矢貫伶子・川西かおり・気谷昌美・木下幸子・岩岡利都子・生駒さやか・伊藤陽子・藤本綾・奈良平宣子・加藤美津子・平林美保子・濱田愛子

ちょうどクリスマスのデコレーションで通りが華やぐ頃、GALLERY北野坂にて展示会がスタートしました。

Style Button=Styleは「テキスタイルのスタイル」「スタイリッシュのスタイル」を表し、Buttonは「本来の意味である衣服をつなぐ付属品」「この展示に関わるすべての人たちをつなぐ」ことを意味しています。制作物は大きく分けて①くるみボタン②くるみボタンを使ったアイテムの2種類。小さなキャンパスの中で魅せるテキスタイルを課題としました。①では、プラスチックカップや竹、システムコード、メッシュの生地などを展示の際に使用。遊び感覚をプラスして数百個のボタンを会場に配置しました。②では、くるみボタンの新しい活用方法を提案。衣類(ジャケット・ブラウス・Tシャツetc)、鞆、装飾物(コサージュ・髪留め・ネックレス)、小物(風呂敷・ティッシュケースetc)。

土日には消しゴムはんこを使ったくるみボタンのワークショップを開催しました。

今回、若手会員の企画をもとにベテラン会員が指導、フォローをするといった新しい運営方法をとりました。企画内容、展示場所、展示方法、助成金申請と新しいことに挑戦するために、長期間に渡って広い世代が集まり、ミーティングを重ねてきました。その結果、充実した展示会を納めることが出来たと実感しています。普段触れ合う機会が少ない会員の方々と関係を密に出来たことは全員にとってもいい機会だったと思います。また、会員外の募集を実施したり、ワークショップでお客様とコミュニケーションをとれたことで新たにTDAの存在を知って頂くこともできました。オリジナルの作品を発表したい!でも一人で作品展をするには力が足りない。そんな会員の方にはとっておきのイベントです。まだ参加したことのない方も是非次回は参加下さい。(松本 有加)

